

科目	理学療法技術特論Ⅲ	担当	太田 進	履修学年	4年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

スポーツ外傷・障害のメカニズムとその予防, 理学療法評価と機能診断, アスレチックリハビリテーションと理学療法, 理学療法プログラムの実際の修得を授業目標とする. 受講者は, スポーツと健康支援に関する理学療法士の役割の理論と実際を修得することができる.

【履修注意】

運動学, 生理学, スポーツ医学, 整形外科学, 運動器障害理学療法学で学んだ基本的内容を理学療法の実際と対比しながら授業を進める. 従って, 上記科目の復習は重要になる.

【評価方法】

課題の提出, 受講態度, 出欠等を総合的に評価する.

【試験について】

実施しない.

【予習・復習】

運動学, 生理学, スポーツ医学, 整形外科学, 運動療法学, 運動器障害理学療法学の復習を行い, 知識を整理した上で受講すること.

【教科書】

指定しない(資料を準備・配付する).

【参考書】

書籍名: スポーツ傷害のリハビリテーション 著者: 山下敏彦(編) 出版社: 金原出版

書籍名: スポーツ外傷・障害に対する術後のリハビリテーション 著者: 内山英司(監) 出版社: 運動と医学の出版社

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	スポーツ理学療法学概論	臨床スポーツ医学と理学療法士の役割, アスレチックリハビリテーション, スポーツメディカルチェック
2	スポーツ外傷・障害と理学療法Ⅰ	スポーツ外傷・障害, 理学療法(下肢1)
3	スポーツ外傷・障害と理学療法Ⅱ	スポーツ外傷・障害, 理学療法(下肢2)
4	スポーツ外傷・障害と理学療法Ⅲ	スポーツ外傷・障害, 理学療法(上肢)
5	スポーツ外傷・障害と理学療法Ⅳ	スポーツ外傷・障害, 理学療法(体幹)
6	テーピング実技Ⅰ	テーピングの理論と実際(足関節)
7	テーピング実技Ⅱ	テーピングの理論と実際(膝関節)
8	まとめ	1~7コマの復習, 確認, まとめ
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		